

新しい相模小学校を つくろうっ!!



相模小学校移転整備事業において、地域で育む子ども達の学校づくりを推進していきます。

設計説明会が開催されました。

2月22日に新しい相模小学校の設計説明会が開催され、現相模小学校区の自治会長さんや、地域の協力団体の皆さまへ新しい相模小学校の骨格となる設計主旨などが、模型やアニメーション等を利用して説明されました。

新しい相模小学校は多様な学習内容や学習形態に対応できる設計になっているだけではなく、地域と共に子ども達の生活の場を造ることが提案されています。また、ツインシティ大神地区の小学校にふさわしい環境共生に考慮した学校づくりが盛り込まれていることも大きな特徴です。



写真：設計説明会の様子
同じ上着の着用からも大神地区の団結力の強さがうかがえます。

設計士からの説明を熱心に聴く様子や模型を見る地域の方々の眼差しからは新しい相模小学校への熱い想いが伝わってきます。質疑応答では、教室の出入口の形態、児童数の設定や地域の避難場所の考え方など具体的な内容も多くあり、新しい相模小学校の将来像を決定する上で貴重な意見が多数出されました。

今後は、地域の皆様とのワークショップが予定されており、地域の関わり方や運用方法、災害対策などを共に考え、議論することで、みんなから愛される子ども達の相模小学校を創り上げていきます。



- ✿ 設計説明会が開催されました。
- ✿ これまでの経緯
- ✿ 新しい相模小学校はこうなる!?
- ✿ 平塚市景観審議会へ報告

これまでの経緯

- 平成25年4月
 - ・相模小学校移転に係る整備方針策定
- 平成26年4月
 - ・相模小学校移転基本計画策定
- 平成28年3月
 - ・相模小学校移転設計者決定
受託者として、株式会社山下設計を特定する。
- 平成28年7月、9月、11月
 - ・学校建設検討委員会開催
- 平成28年7月、12月
 - ・子ども達のワークショップ開催
- 平成29年2月
 - ・設計説明会開催
自治会、地域協力団体等の代表者に設計主旨を説明。
- 平成29年3月
 - ・平塚市景観審議会報告
相模小学校移転整備事業（設計委託）
設計主旨等を報告。



新しい相模小学校はこうなる!?

～基本設計の案を見てみよう～

設計説明会では新しい相模小学校の基本設計の案が報告されました。校舎はどんな感じ？グラウンドは広いの？みどりはたくさんあるの？気になることはたくさんあります。一体どんな小学校になるのでしょうか？基本設計の案を見てみましょう！！

設計主旨 1

新たな地域コミュニティを育む「(仮称)寄木(よりき)モール」・「虹色テラス」を核とした学校づくり



ツインシティ構想の実現により大神地区は広域的な交流・連携の新たな拠点と生まれ変わり、新しい産業や住宅の整備により生活スタイルや交通環境が変化するなかで、「新しいまちと昔からのまちの共存・共生」が街づくりのテーマとなります。

大神公民館や公園との接点でもある小学校敷地西側の道路を「地域コミュニティのシンボル」として位置づけ、様々な地域交流や活動を支える道「(仮称)寄木モール」として整備することで、これまで相模小学校が育ててきた「地域とのつながりを一層高め、発展できる学校」を目指します。

・(仮称)寄木モール

小学校敷地の外にも子ども達の活動を支える場所を創ることで、地域との交流や子ども達の学習を深め、「子どもと地域が共に成長できる場所」とします。



↑道路に面してクラスプランターを設置

←地域コミュニティを意識した周辺整備

・虹色テラス

校舎の1階をコの字型とし(仮称)寄木モール側へ開き、中央のウッドデッキからテラスを囲む教室と一体的に利用できる計画とすることで、学年・クラス・地域の枠を超えた交流を可能にします。



野外音楽演奏会などの利用イメージ

設計主旨 2

「豊かな教育」と「社会的変化」を支える持続性の高い学校

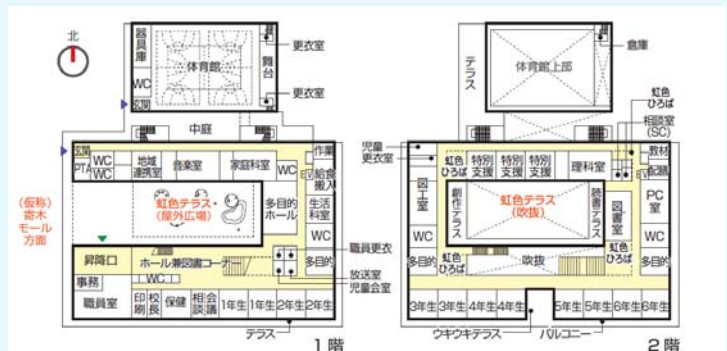
1階はコの字型とし、「虹色テラス」を中心に周囲に音楽室や家庭科室などの特別教室を配置し連携利用しやすい計画となっています。2階は口の字型で虹色テラスの吹抜けを囲む見通しの良い回遊式動線で構成されています。建物は2階建てとし、圧迫感の少ない計画とすると共に、全ての普通教室と特別支援教室は南側採光を確保し良質な学習環境を確保します。

・豊かな教育を支える骨格

- ①普通教室(生活ゾーン)の快適化
子ども達の学年による体格差を考慮した階数設定や南側採光の確保
- ②学習ゾーン(メディアセンター)の連携向上
図書室の周りに理科室やコンピューター教室を近接配置することで調べ学習をスムーズに行うことが可能
- ③虹色ひろば(オープンスペース)の継承
子ども達の交流の場となると共に、図工作品の展示など多様な活動に対応可能

・社会の変化を支える骨格

地域開放等に対応できるセキュリティ構成



↑虹色テラスには子ども達のワークショップで意見の多かった「中庭に池が欲しい」という意見を反映し、池をイメージした窪地を計画

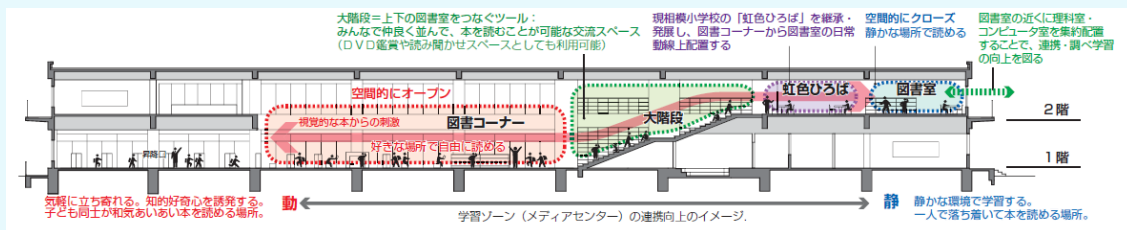
他校にない特徴

「本」を通して教育活動の向上や交流の推進を図る学校づくり

1階は、子ども達が気軽に立ち寄れるオープン構成のホール兼図書コーナーを配置し、日常動線上において道草感覚で本に触れる機会を増やし、知的好奇心をくすぐると同時に、学年を超えた交流を誘発する計画になっています。2階へ続く大階段を設け、自由に座って本を読める工夫を施し、大階段の先には虹色ひろばと図書室が配置され、本を身近に感じることが出来る空間が立体的に連続して構成されています。

2階の図書室は1階の活動的な図書コーナーとは異なり、落ち着いた本を読めるスペースを有し、調べ学習が可能のようにコンピューター室や理科室に隣接しています。また、2階のテラスへ続く扉を開ければ外で本を楽しむことも可能となっています。

1階の図書コーナーを「動的図書室」、2階の図書室を「静的図書室」と位置付け、その中間部分を大階段と虹色ひろばでつなぎ、様々な形で本に接することで教育的効果を高める計画となっています。



↑昇降口から図書コーナーを見る(イメージ)



↑大階段から図書コーナーを見る(イメージ)



↑図書コーナーの利用イメージ

設計主旨 3

環境共生に配慮したエコスクールの提案

ツインシティ大神地区にふさわしく、環境共生を意識した計画とします。また、建設残土を利用し、建物床レベルを周辺道路レベル最高位より約1m高くすることで、浸水対策も行い災害に強い地域の避難拠点となるような計画とします。

- ①光と風を取り入れる
- ②断熱化
- ③屋外緑化を積極的に行う
- ④LED照明器具の採用
- ⑤田園風景を継承する
- ⑥再生エネルギーの利用
- ⑦建設残土を外構に活用
- ⑧自然エネルギーを活用した地域避難拠点

建物概要

建物名称: 平塚市立相模小学校
建築面積: 4, 232. 32㎡ (予定)
延べ面積: 6, 145. 35㎡ (予定)
階数: 2階建て
最高高さ: 12. 0m (予定)

※注: 基本設計の案の内容は、関係機関等との検討及び協議により変更となる場合があります。

平塚市景観審議会へ報告

3月16日に開催されました第16回平塚市景観審議会において、相模小学校移転整備事業の基本設計(案)の内容が報告され、助言を頂きました。今後は、地域の皆様と考える相模小学校の景観形成について引き続き助言を頂き、相模小学校がツインシティ大神地区らしい良好な景観形成を担っていけるよう検討していきます。



平塚市の景観づくりの目標をイメージしたロゴマーク

お問合せ

平塚市教育委員会学校教育部教育施設課

平塚市豊原町2番21号

電話: 0463-35-8115 Fax: 0463-36-7555

Email: k-shiset@city.hiratsuka.kanagawa.jp

第2号

平成29年3月30日

発行先: 平塚市教育委員会

編集: 学校教育部教育施設課 株式会社山下設計